

日本地質学会第119年学術大会（2012大阪）講演プログラム（ポスター）

■ 9月16日（日） コアタイム 13：00-14：20 学術交流会館（注意：アウトリーチセッションのみ、コアタイム・会場が異なります）

W. 国際ワークショップ「Geology of Japan」

W-P-1

Global tectonics and metallogeny of Japan. **Watanabe Y.**

W-P-2

Older accretionary units in Honshu and Shikoku islands, Japan. **Kojima S.**, Hayasaka Y., Hiroi Y., Matsuoka A., Sano H., Suzuki N., Takemura S., Tsujimori T., Uchino T.

T5. 沈み込み帯地震発生帯研究の新たな進展

T5-P-1

IODP Site C0019周辺における高分解能反射法地震探査と掘削データとの対比. **中村恭之**・Cook Becky・Conin Marianne・三浦誠一・高橋成実・小平秀一・Mori James・Chester Frederick・江口暢久・Toczko Sean・第343次航海乗船研究者一同

T5-P-2

IODP第343次研究航海（JFAST）で採取された間隙水試料の地球化学分析－予察的結果. **石川剛志**・Sample James・高井研・Mori James・Chester Frederick・江口暢久・Toczko Sean・Expedition 343乗船研究者一同

T5-P-3

東北沖日本海溝に沈み込む遠洋性粘土質堆積物の地震性高速すべり挙動. **澤井みち代**・廣瀬丈洋

T5-P-4

高速摩擦を考慮した東北地方太平洋沖地震発生サイクルモデルによる余効すべりの再現. **芝崎文一郎**・堤 昭人・氏家恒太郎・嶋本利彦

T5-P-5

付加体泥岩物質の中・高すべり速度における摩擦の過渡的なすべり強化現象について. **沖田正明**・堤 昭人

T5-P-6

沈み込み地震発生帯における断層すべりパラメータの推定とその系統化. **濱田洋平**・山口飛鳥・亀田 純・木村 学

T5-P-7

沈み込みプレート境界における堆積物のP波速度と間隙率の関係：熊野沖南海トラフの例. **山口実華**・橋本善孝

T5-P-8

陸上付加体にみる異なる変形構造についての応力・有効摩擦係数・流体圧の推定：四国四万十帯の例. **栄田美緒**・橋本善孝・山口実華

T5-P-9

台湾集集地震断層における小断層逆解析による応力と有効摩擦係数. **戸部航太**・橋本善孝・中屋太一・葉恩肇

T5-P-10

四万十付加体中の延岡衝上断層を貫くボーリングコアを用いたイライト結晶化度の解析. **福地里菜**・藤本光一郎・浜橋真理・山口飛鳥・木村 学・亀田 純・濱田洋平・橋本善孝・栄田美緒・比名祥子・北村有迅・齊藤実篤・水落幸広・長谷和則・明石孝行

T10. ジュラ系+

T10-P-1

長野県塩尻南方地域に分布する美濃帯戴原層および奈良井層の地質. **内山雅貴**・松岡 篤

T10-P-2

富山県南部の中－上部ジュラ系手取群桐谷層から産出した生痕化石 *Teredolites* および *Thalassinoides* について. **平澤 聡**

T10-P-3

西南日本付加体に含まれる上部古生界放散虫チャートの年代分布. **伊藤 剛**・Feng Qinglai・松岡 篤T11. 西南日本地体構造論の現代的問題点
(市川浩一郎追悼セッション)

T11-P-1

中生界含放散虫層状チャート研究の展望. **堀 利栄**

R4. 変成岩とテクトニクス

R4-P-1

東南極リュツォ・ホルム岩体西部、アウストホブデ及びインホブデ地域の変成温度圧力経路の比較. **齋藤陽介**・角替敏昭

R4-P-2

Neoproterozoic orogens amalgamating East Gondwana：Did they cross each other？. **Satish-Kumar M.**・Hokada Tomokazu・Osanai Yasuhiro・Owada Masaaki・Shiraishi Kazuyuki

R4-P-3

東南極セールロンダーネ山地プラトニーバネ地域における反時計回りの温度圧力経路. **馬場壮太郎**・小山内康人・中野伸彦・大和田正明・堀江憲路・外田智千・足立達朗・豊島剛志

R4-P-4

Late-Tonian to early-Cryogenian apparent depositional ages for metacarbonate rocks from the Sør Rondane Mountains, East Antarctica. **Otsuji Naho**・Satish-Kumar M.・Atsushi Kamei・Noriyoshi Tsuchiya・Tetsuo Kawakami・Masahiro Ishikawa・Geoff Grantham

R4-P-5

東南極セールロンダーネ山地の南部～東部におけるジルコンのLA-ICP-MS U-Pb年代. **北野一平**・小山内康人・足立達朗・中野伸彦

R4-P-6

東南極 レイナー岩体におけるチャーノカイトの成因論. **半田玲奈**・加々島慎一

R4-P-7

東南極ナビア岩体バント島に産出するサフィリンググラニュライトの温度圧力履歴. **清水恒子**・角替敏昭

R4-P-8

Metamorphic process recorded in pelitic gneisses in the Hanhohiyin Mountains, western part of Mongolia. **足立達朗**・小山内康人・中野伸彦・大和田正明・Satish-Kumar Madhusoodhan・Jargalan Sereenen・Boldbaatar Chimedtseye・米村和紘・吉本 紋

R4-P-9

ベトナム・ラオスの変成岩類に記憶されたSilurian-Ordovician イベント. **中野伸彦**・小山内康人・足立達朗・Charushiri Punya・大和田正明

R4-P-10

タイ中・南部の花崗岩類および変成岩類のLA-ICP-MS U-Pb ジルコン年代. **河上哲生**・東野文子・柚原雅樹・小山内康人・中野伸彦・米村和紘・Charusuri Punya・上久保寛・牧 賢志・平田岳史

R4-P-11

スリランカ中央部に産する“arrested”チャーノッカイトの内部組織. **山崎由貴子**・池田 剛・本吉洋一・廣井美邦・ブレイム バーナード

R4-P-12

太古代ダールワール岩体の片麻岩基盤に挟まれる片岩帯の層序区分の再検討：SHRIMPジルコン年代による制約. **外田智千**・堀江憲路・Satish-Kumar M.・上野雄一郎・三島 郁・Nasheeth Abdulla・奥平敬元・白石和行

R6. 地域間層序対比と年代層序スケール

R6-P-1

中新統瑞浪層群と師崎層群に含まれる軽石のガラス組成. **古川邦之**・金丸龍夫

R6-P-2

関東平野中央部の地下更新統に挟み込む海成層の対比－海洋酸素同位体ステージとの対応の検討－. **納谷友規**・植木岳雪・本郷美佐緒・水野清秀

R7. 海洋地質

R7-P-1

北部伊豆・小笠原弧ベヨネーズ海丘から採集された火山岩類の多様性. **吉田尊智**・岡村 聡・坂本 泉・足立佳子

R7-P-2

マリアナ南端部海域での海底地形・地質・岩石・熱水活動・鉍化作用調査－R/V T.トンプソン号TN273研究航海速報－. **石井輝秋**・Fernando Martinez・R. Stern・加藤泰浩・小原泰彦・Katherine Kelley他19名の乗船研究者

R7-P-3

鹿児島県薩摩硫黄島長浜湾の熱水活動に伴う、水酸化鉄チムニーについて. **倉富 隆**・清川昌一・池原 実・後藤秀作・蓑和雄人・池上郁彦

R7-P-4

鹿児島県薩摩硫黄島長浜湾の鉄沈殿物の希土類元素組成：沈殿物と海水の比較. **蓑和雄人**・清川昌一・後藤秀作・伊藤孝・池原実・山口耕生・上芝卓也・池上郁彦・赤木右

R7-P-5

IODP Exp. 323 ベーリング海から掘削した海底堆積物に記録されたJaramillo正磁極亜期付近の古地磁気変動. **後閑友裕**・岡田 誠・Steve Lund

R7-P-6

日本海盆東縁部におけるコンターライトの可能性. **片山**

※講演番号は、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R)、国際ワークショップ (W)、アウトリーチセッション (OR) のそれぞれに、ポスター (P) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。 ※太字は代表発表者です。

日本地質学会第119年学術大会（2012大阪）講演プログラム（ポスター）

■ 9月16日（日） コアタイム 13：00-14：20 学術交流会館（注意：アウトリーチセッションのみ、コアタイム・会場が異なります）

肇・井内美郎

R7-P-7

湖山池の水門開放（速報）：低塩分湖水の劇的高塩分化に伴った先駆的有孔虫の出現と湖水の動態。 野村律夫・池田翔太・辻本彰・森 明寛・九鬼貴弘・初田亜希子

R8. 堆積物（岩）の起源・組織・組成

R8-P-1

北海道天塩中川地域、蝦夷層群における上部白亜系碎屑性重鉱物の化学組成。 西尾真由子・吉田孝紀

R8-P-2

神奈川県中央部、鮮新－更新統中津層群の砂岩礫のモード組成。 河尻清和

R8-P-3

南部北上帯と飛騨帯のジュラ系～下部白亜系碎屑岩の化学組成からみたアジア大陸東縁の後背地変動。 志賀由佳・足立佳子・吉田孝紀

R8-P-4

地球化学的にみたパレオテチス沈み込み帯における砂岩の後背地：タイ北部の例。 國井美幸・原英俊・足立佳子・久田健一郎・チャルシリパンヤ

R10. 堆積相・堆積過程

R10-P-8

長崎県西海市に分布する漸新統七釜砂岩層に認められる石灰藻球砂岩の堆積環境。 石原与四郎・境宏樹・藤川将之・吉村和久・山下幸一

R10-P-9

貝化石密集層の形成と堆積シーケンス－掛川層群上部層を例に－。 柴 正博・石川智美・横山謙二・田辺積

R10-P-10

和歌山県四万十帯サラシ首層の層序と構造－泥火山の可能性－。 潮崎翔一・宮田雄一郎

R10-P-11

縞状珪藻土層にみられた11年周期－大分県更新統野上層－。 宮田雄一郎・須崎精一郎

R10-P-12

海洋起源有機物の安定炭素同位体比曲線を利用した年代決定および岩相の対比－IODPニューゼーランド沖陸棚斜面上のU1352Bコアを例にして－。 小林由季・古藤 尚・保柳康一

R10-P-13

偽礫の定置様式からみたタービダイトに伴うデブライトの起源。 蟹井猛宏・宮田雄一郎

R10-P-14

セディメントウェーブ上を流れる重力流の堆積過程：宮崎層群青島層の例。 瀧井喜和子・石原与四郎

R10-P-15

京都南部、木津川の高水敷にできた砂床ベッドフォーム群の配列。 坂本隆彦・谷口圭輔・伊藤有加・増田富士雄

R10-P-16

礫浜海岸地形の形成実験：その内部構造と粒度ギャップ。 仁

井谷 覚・増田富士雄

R10-P-17

反砂堆の形態の多様性－特に波高：波長比について－。 前島 渉・小川尚真

R17. 環境地質

R17-P-4

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い放出された放射性物質の土壌中深度方向の分布状況に関する調査研究。 青木和弘・佐藤治夫・新里忠史・天野健治・田中真悟・阿部寛信・中司 昇

R17-P-5

福島県除染推進活動に関する平成23年度の専門家活動について－仮置場の設置に係る原子力機構の支援対応－。 阿部寛信・池田幸喜・見掛信一郎・永崎靖志・新里忠史・浅妻新一郎、ほか 福島環境安全センター除染推進専門家チーム15名

R17-P-6

平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震に伴う温泉湧出異常と誘発地震の地質学的意義。 川辺孝幸・中野啓二

R17-P-7

2011年東北地方太平洋沖地震後の千葉県九十九里浜におけるCH₄湧出範囲および砂浜地形の変化。 吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・香川 淳・古野邦雄・酒井 豊・木村満男

R18. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造

R18-P-1

干渉SAR解析と斜面ベクトル解析による広域ハザードモニタリングの可能性について。 中村貴子・六川修一

R18-P-2

三浦半島に分布する下部更新統斜面堆積物（上総層群野島層）における海底地すべり構造。 野崎 篤・楠 稚枝・間嶋隆一

R18-P-3

瀬戸内火山帯の火山岩の γ 線量率。 上島昌晃

R18-P-4

コンクリートの風化作用を伴うゲル状物質の生成－アルカリシリカゲルと非アルカリシリカゲルの共存－。 米島真由子・加藤孝幸・佐々木克久

R18-P-5

二重管式固定軸サンプリング法について。 村田誠一・東邦地下工機株式会社

R19. 地学教育・地学史

R19-P-1

高校生による「丹沢たんけんマップ」作り－SPPを活用した学校設定科目（夏期集中講座）実践報告－。 小尾 靖・桑島隼・門田真人・蛭子貞二・矢島道子・南里翔平

R19-P-2

学校の石材が語る地域地質および地域産業－九州地方の例－。 大木淳一

R19-P-3

地学教養教育としての放射線測定。 田中 剛・竹内 誠・片

岡達也

R19-P-4

地学教科書における続成作用の記述と砂岩の続成作用を教えるための氷塊を使った実験。 廣木義久

R19-P-5

能力のある高校生に対して行う宇宙地球科学セミナーの実践報告。 川村教一

R19-P-6

1877（明治10）年8月B.S.Lyman宛感謝状。 金 光男

R19-P-7

第三紀ハンマー：歴史と再生。 辻野 匠・柳沢幸夫・徳橋秀一

OR. アウトリーチセッション

コアタイム 13：30-14：30, 17：00-18：00

会場 Uホールエントランスロビー

OR-P-1

堆積平野の基盤構造。 高橋雅紀

OR-P-2

日本列島の成り立ちから見た関東平野の基盤構造。 高橋雅紀

OR-P-3

松葉ガニと但馬牛－山陰海岸ジオパークの地質的背景が生み出した食の名品。 先山 徹・松原典孝

OR-P-4

二上山の岩石は1500万年前の火山活動によってできた：年代と古地磁気の測定から。 星 博幸

OR-P-5

Androidを利用した海洋コア試料のデジタルイメージングサービス。 久光敏夫・山際伸一

OR-P-6

2011年度地質の日企画「バシクル沼に潜む巨大津波痕跡と化石カキ礁の秘密」の企画と実践。 重野聖之・石井正之・七山太・小久保慶一・山代淳一・近藤康生・松島義章・横山芳春・上原 亮・安藤寿男

OR-P-7

鹿児島大学総合研究博物館による特別展「錦江湾奥の自然と人とのかわり」に向けて。 内村公大・鹿野和彦・福元しげ子・大木公彦

OR-P-8

東日本大震災における震災復興・日本再生支援事業（熊本大学・国立大学協会共催）の紹介。 秋元和實・滝川 清・谷口 功

OR-P-9

地学を楽しく学ぶ：日本地質学会e-bookの発行。 吉田 勝・天野一男・中井 均

OR-P-10

ヒマラヤの地学巡検とガイドブック。 吉田 勝・ウブレティ B.N.・ライ S.M.

OR-P-11

学生・教員・企業新人対象のヒマラヤ野外実習プログラム。 酒井哲弥・吉田 勝・在田一則

※講演番号は、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R)、国際ワークショップ (W)、アウトリーチセッション (OR) のそれぞれに、ポスター (P) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。 ※太字は代表発表者です。